

2018年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部                      国際社会科学科                      2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 香港中文大学（International Asian Studies Programme）
原則公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 8月 27日 ～ 2019年 5月 11日 出国日                      2018年 8月 25日 最終帰国日                      2019年 5月 15日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計 1,500 字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

## 1. 留学全般について

### （1）留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初の所感として、授業の進め方と授業に取り組む姿勢の違いに戸惑う事が多々あった。特に、グループプロジェクトでは、初めの方はやらなければならない事もよく分からず、グループミーティングで集まってもあまり意見をいう事が出来ず、自分の力不足を実感した。しかしこのままグループのフリーライダーになってはいけないと思い、少しずつではあるが出来るだけ意見を出したりと自分なりにグループに貢献しながら約3ヶ月間のグループプロジェクトを終えた。1学期を振り返り、グループプロジェクトに少し苦手意識を持ってしまったので、2学期の授業では苦手な事に、より挑戦して行こうと決意したのである。後期で履修した6科目のうち、半分の3科目はグループプロジェクトがあり、後期のグループプロジェクトが増えた事により前期よりも忙しくなったが、グループに貢献できるよう精一杯努めた。グループワークでは前期よりも積極的に意見を出したり、他の英語ネイティブの学生たちよりも調査やレポートなどに時間がかかるため早めに取り掛ったり、プレゼンテーション発表の自分のパートは暗記するぐらいに何度も練習をこなしたりと、前期よりもグループプロジェクトに貢献する事が出来たのである。前期と後期を通して、実際に何度も自分の実力不足と他学生のレベルの高さを感じて辛い時もあったが、周りのサポートもありつつ最後まで諦めずに頑張れたおかげで、グループプロジェクトのみならず積極的に意見を言う事に対しての苦手意識も減らす事が出来たと思う。

留学を通してもう1つ感じたのは、中国語を学ぶ楽しさである。私は留学前に1学期間のみ中国語初級を学習院で履修していたが、香港中文大学(以下 CUHK)と比較すると、CUHKでの授業の進み方や進めるペースは遥かに早く、1回の授業で1チャプター進むので予習・復習・課題の量も全く異なる。しかし、それでも中国語を学んでいて楽しいと思えるようになったのである。また、中国人の友達や他の国籍で中国語が話せる友達が沢山出来たので授業外でも学んだ中国語を練習することが出来たので CUHK では中国語を学ぶ環境は非常に良いと感じた。

## (2) 留学前にもっと準備をしておけば良かったと感じること

留学前にもっと準備をしておけば良かったと思う事は3つある。

1 つ目は英語の勉強である。上記でも記載の通り、授業の講義やグループプロジェクト、レポート等で何度も自分の実力不足と周りの学生のレベルの高さを感じた。授業について行けないレベルとまではいかないが、留学前に少しでも英語力を上げておけば良かったと感じている。

2 つ目は中国語の勉強ではある。香港の公用語は英語と広東語なので基本的に中国語(普通語)は履修希望者のみであるが、CUHK では中国語を取得するのに最適な環境である。実際に中国語は上達し、中国語を勉強していて楽しいと思えるようになったが、留学前にもっと中国語を勉強していれば中級クラスに挑戦する事が出来たのではないかと思うと、少し後悔が残る。

3 つ目は自炊である。私は日本で実家暮らしをしていた為、自炊をする機会が少なかったがCUHK で寮生活をするようになってからは自炊をしておけば良かったと思うようになったのである。実際に、大学食堂も外食も安くて美味しいので困る事はなかったが、他の留学生や現地の学生と一緒に料理をしたり、自分の国の食べ物を作る等の異文化交流の機会が沢山あるので、日本の食文化を伝えると言った点でも、もっと自炊をしておけば良かったと感じている。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

CUHK の授業は基本的に1授業が3コマ(1コマ45分 × 3)で約2時間半の授業となっており、途中で 15 分休憩が2回あるが、授業によっては休憩時間が異なる時もある。また、科目によっては週の中で2コマと1コマに分かれている事もある。講義とは別でチュートリアルがある授業も多い。授業に取り組む姿勢においては、積極的に発言する学生がかなり多く、プレゼンテーションやディスカッションでも積極性が求められる。また、各科目ごとの必読書も多い。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

CUHK のキャンパス内は想像以上にとっても広く坂が多い、と言うのが最初の印象である。キャンパス内の施設は図書館や食堂以外に、ジムやスーパー、クリニック、理髪店等もある。徒歩での移動は可能だが、キャンパスの山上の方の寮(例えば C.W.CHU college)等になった場合は、駅まで徒歩で45分以上はかかるのでバス移動が一般的である。(タクシーが安いのでタクシーで移動する生徒もよく見かける。)また、CUHK にはカレッジが9個あり、必ずどれかのカレッジに配属されるので、カレッジごとの特別行事やお食事会等に参加すると現地の学生との交流の場が増えるのでとても良い。加えて、オリエンテーションウィーク期間に大学内のキャンパスツアーや近道を教えてもらえるので、近道は覚えておくとても便利である。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

英語力に不安がある場合は英語の講座があるので無料で参加出来る。また、バディー制度もあるので留学初期の方で申請をする事で、1人に対して1人のバディーがつく。これ等のサポートや、他に分からない事がある場合は、i-Centre の OAL(Office of Academic Links)のオフィスが全面的にサポートしてくれるので相談すると良い。中国語においては、授業の一環として毎週チュートリアルが45分間ある。

また、留学生を対象とした制度ではないが、Chung Chi College (CC college) 所属の本科生と留学生は、毎週火曜日に CC College で行われるイングリッシュディナーに参加する事が出来る。ここでは英語力を高めたい学生達が集まり、ディナーを楽しみながら、英語での軽いスピーチ

やタスク、お喋りをして英語力を高める事が出来る。大学内の CC スタッフキャンティーンは香港料理が食べられる上に参加費は無料である。他のカレッジに所属している留学生であっても、ある程度の英語力があればネイティブスピーカーとして申請して参加する事も可能である。

**生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。**

留学生向けのイベント等は自分の大学のアドレス宛てに毎回メールが届くのでこまめにチェックしておくが良い。中華料理のクッキング教室や、ハイキング等、様々なイベントがある。また、ムーンケーキ作りやランタンディナーなど、行事ごとのイベントも用意されているのでおすすめである。イベントの参加申し込みや分からない事がある場合は、こちらも i-Centre の OAL(Office of Academic Links)のオフィスが全面的にサポートしてくれるので相談すると良い。

生活面においては、慣れない環境での生活と課題の多さ等に精神面で辛くなる事がある場合は、大学内でカウンセリングを受ける事も出来る。また、授業に不安がある場合は担当の教授に相談してみるのも良いと思う。

**資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。**

特になし。

**(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。**

比較的良い。ただ、大学内は誰でも入れるので夜は多少の警戒が必要である。特に、CUHK はキャンパス自体が山になっているので、夜になると蛇や蛙、虫などに気をつけた方が良い。(大学内で野生の豚か猪を見たと言う目撃情報も出ている。)

**(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。**

特になし。

**(6) 留学先での履修科目等**

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Chinese - Application of Vocabulary & Grammar (3 単位)	
Chinese - Oral Skills Practice (3 単位)	
Anatomy of an Entrepreneur (3 単位)	
Marketing Management (3 単位)	
Introduction to International Business (3 単位)	
Chinese - Communication in Context (3 単位)	
Chinese - Basic Presentation Skills & Daily Situation (3 単位)	
Money & Banking (3 単位)	

Business and China (3 単位)	
China, HongKong and the World Economy (3 単位)	
Operation Management (3 単位)	

### 3. 宿舎について

#### (1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ( )

#### (2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 HK\$1600 (Term1&2: HK\$6315 for each term)、(日本円) 約 22,400 円

#### (3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ( 大学の食堂、外食 )

#### (4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ( ), 計 約 15 分

#### (5) 感想、良かった点・悪かった点

私が住んでいた寮は International House3(以下 I-House3)だったので大学駅からは徒歩約 15 分の距離にあり、駅、図書館、授業間の教室移動には比較的便利な位置にあった。しかし、寮によっては、中文大学の山上の方に位置していたり、寮から駅まで徒歩 30 分以上かかる所もあるので最初の寮希望申請と運次第である。大学内では無料のバスが走っているが週末は本数が少なく、平日週末共に最終バスが夜 11 時半なのでこれを逃すと少し不便な時もある。寮ごとの清潔さや寮内のルールの厳しさなどは異なるが、全ての寮の各階にはウォーターサーバーが設置されており、便利である。I-House3 の良かった点として、1 つ目は、留学生・国際生が多いので友達が出来やすく、英語の上達にもなる事だ。2 つ目は、屋上からの景色が綺麗である。3 つ目は、中文大学の中央図書館から近く、便利である。悪かった点は、1 つ目に、トイレにトイレットペーパーを置いていないので自分で用意する必要があり、他の寮と比べ多少不便である。2 つ目は寮全体で洗濯機が寮内に 2 つ、乾燥機が 1 つしかないのでピークの時間になると順番待ちが必要である。3 つ目は、パントリーがあまり綺麗ではないので、夜にパントリーに行くと虫を見かける事が多いと言う事だ。

### 4. 費用について

#### (1) 学費

協定留学なので香港中文大学の学費ではなく、自分の学部の学費を学習院大学に納めた。

(現地通貨) 約 、(日本円) 約 円

#### (2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ( ), (日本円) 往復 約 10 万円

#### (3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 HK\$5600 、(日本円) 約 78,500 円

※ 宿舎費を含めた金額を記入してください。

#### (4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ( 香港の銀行口座 )

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

クレジットカードが使える場所が多いが一部のローカルな場所では稀に現金のみでしか支払いが出来ない場合がある。その他として、事前に香港現地で銀行口座を開いたので、定期的な現金の引き出しが便利で良かった。香港の銀行カードを所持していない場合で

も、JETCO マークのついているカードを持っていれば、JETCO マークの ATM で手数料なしで現金を引き出せるのでこちらも便利である。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳  
受給なし。

## 5. 保険について

(1) 保険会社名: ジェイアイ傷害火災保険

(2) 保険料

約 140,000 円

(3) 加入した保険の種類、内容

海外留学(旅行)保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

怪我や病気をした時はこの保険会社とキャッシュレス提携をしている病院に行っていたが日本語が話せるスタッフ又は日本語通訳の方がいたので良かった。個人的な話になってしまうが、留学中に腸の病気や、足の怪我、蕁麻疹などにかかってしまい、病院に通う事が多かった。特に、足の怪我では治療費に約 HK\$8,000 以上かかってしまったが、これらの治療費(交通費含む)を全て保険でカバー出来たので良かった。今回の留学を通して、いつ/どのような病気怪我になるか分からないので保険の大事さを痛感した。

## 6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物/船便/SAL 便/航空便/海外宅配便/その他 ( )

(2) 持って行って良かったと思う物

寮内用のサンダル、100 均で売っているような物入れ(お風呂の時にシャンプー等入れる用)、小さい置き鏡、ボトル、日本のお菓子やレトルト食品、服の圧縮袋、ハンドキャリーサイズのスーツケース

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

ベッドシートと枕カバー(現地で安く調達できる)、  
ドライヤーやヘアアイロンは変圧が異なるので事前に変圧を確かめておくが良い。

(4) 持って行けば良かったと思う物

変換プラグ(出来れば複数差せるもの)、  
生活必需品等は主に現地で安く調達できる。

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

平日は主に、授業後に図書館で課題・予習・復習等の勉強をしたり、その後は大学内の食堂又は大学駅周辺の駅で夜ご飯を食べに行ったりしていた。昼ご飯や夜ご飯は現地で出来た友達と親睦を深めながら、英語を積極的に話すようにしていた。平日は、次の日の授業もあり、特に予習と課題が多かったため、大学キャンパスから出る事が少なかった。また、読書も平日の過ごし方のひとつであった。

## (2) 週末

週末は香港内の散策、香港島の方でご飯を食べたり、ハイキングに行ったりしていた。授業の課題等が多い週は出かけずに図書館に籠って勉強する事も多いが、休みなもので香港でしか体験できない事や香港でしか味わえないローカル料理をも楽しむようにした。また、そんなに多くはないが週末には何度か中国本土等に旅行(深圳など)に行く事もあった。例えば、中文大学駅から深圳までは電車で約30分で行けるので、深圳とその周辺の中国本土は比較的によく日帰りでも行けるのである。中国本土では香港とは少し違った中国のローカルを経験する良い機会となった。(日本人はビザが必要ないので便利である。)また、中文大学のイベントに参加して異文化交流をしたり、後期にはボランティアにも参加した。ボランティアでは、現地の学校を訪問し中学生高校生たちに様々な国の文化を教えながらカルチャーシェアリングをした。

## 8. 後輩へのアドバイス等

香港中文大学での英語での講義はレベルの高いものが多く課題も多いが、途中で諦めずに最後まで履修する事で英語力だけでなく、積極性、レポートやプレゼンテーションの力も上がるので4~5教科の履修がおすすめである。6教科の履修は大変ではあるが、せっかくの留学なので挑戦したい人は是非挑戦した方が良いと思う。また、中国語の授業は初心者でもとても分かりやすく楽しいので中国語の履修もおすすめである。

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

入れておいて便利なアプリ:①MTR mobile - 香港版の電車のアプリである、②Open Rice - 現在地周辺や駅ごとのレストラン検索に便利である、③mobile CUHK - 中文大学の地図やバスの時間などが載っており便利である。

MTR(電車)では Octopus というカードを使う。これは日本で言う Suica や Pasma の様な物なので学生用の Octopus を申請すると便利である。